

杉並区基本構想実現のための区民懇談会

# すぎなみ ちょこっトーク

～みんなで話す すぎなみの未来～



[意見の概要]

平成 29 年度～平成 30 年度開催



杉並区では、平成 24 年 3 月にまちの将来像と目標を描いた「杉並区基本構想（10 年ビジョン）」を策定しました。併せて、この基本構想を実現するための道筋として、「杉並区総合計画（10 年プラン）」と「杉並区実行計画（3 年プログラム）」を策定し、その推進に努めてきました。

また、区では基本構想を策定して以降、「杉並区基本構想実現のための区民懇談会（通称：すぎなみちよこっトーク）」を開催しています。これは、区民の皆様から幅広くご意見をいただくことで、区民の皆様と共に基本構想の実現を図るために毎年開催しているものです。

区民懇談会では、無作為抽出した区民のうち、参加意向のあった方に参加していただき、その時々での区の課題等に応じて設定したテーマに対して、参加者同士で意見交換をしていただいています。

今回は、総合計画・実行計画等の改定を区民懇談会のテーマの柱に、初めての取組として、平成 29 年度と平成 30 年度の 2 か年にわたり 4 回連続して、区民懇談会を開催いたしました。

この冊子は、平成 29 年 12 月から平成 30 年 6 月までに開催した区民懇談会の様子や、参加者のご意見の概要をまとめたものです。

## ～ もくじ ～

1	総合計画の改定に向けた区民アンケートについて	2
	区民アンケート結果	3
2	基本構想実現のための区民懇談会	5
	第 1 回「すぎなみちよこっトーク」の概要	7
	第 2 回「すぎなみちよこっトーク」の概要	13
	第 3 回「すぎなみちよこっトーク」の概要	18
	第 4 回「すぎなみちよこっトーク」の概要	22

# 1 総合計画の改定に向けた区民アンケートについて（概要）

区では、区民懇談会の開催に先立ち、平成 29 年 11 月に、杉並区に住民登録がある 18 歳以上 70 歳未満の方の中から、2,000 人を無作為抽出し、区民アンケートを実施いたしました。

アンケートでは、杉並区の将来像「支えあい共につくる 安全で活力ある みどりの住宅都市 杉並」を実現するための 5 つの目標ごとに、区のこれまでの取組について、区民の皆さんがお住まいの地域で感じている、「区が進める取組の進捗に関する実感（評価）」と「今後、区が特に力をいれるべき取組」について回答していただきました。

また、無作為抽出以外の方からも幅広くご意見をいただくために、同内容のアンケートを区ホームページでも実施しました。アンケートは、ホームページからの回答も含め、406 件の回答をいただきました。

回答結果の概要は次ページをご覧ください。

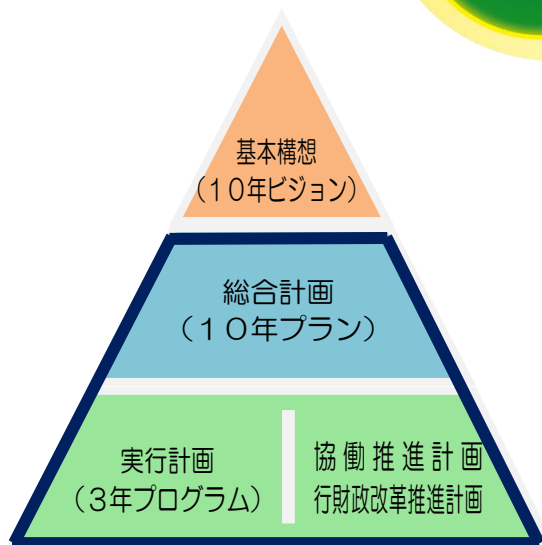
## 【基本構想・総合計画・実行計画等の体系】

将来像

支えあい共につくる 安全で活力ある みどりの住宅都市 杉並

将来像を実現するための  
5 つの目標

- 目標 1 災害に強く安全・安心に暮らせるまち
- 目標 2 暮らしやすく快適で魅力あるまち
- 目標 3 みどり豊かな環境にやさしいまち
- 目標 4 健康長寿と支えあいのまち
- 目標 5 人を育み共につながる心豊かなまち



区の目指す将来像とその実現に向けた目標

基本構想を実現するための具体的な道筋となる5つの目標に沿った「32 施策」

32 施策を推進するための具体的な「計画事業」と「協働」「行財政改革」の取組を定めたもの

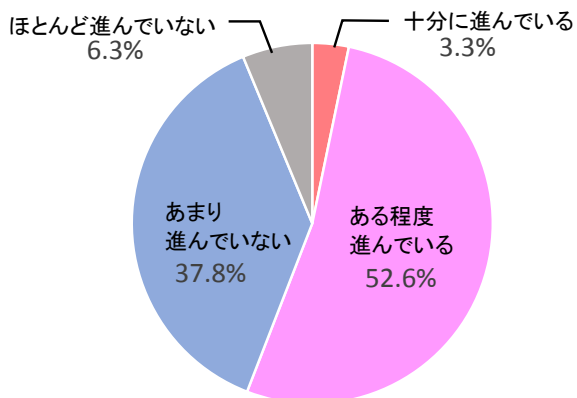
※ 太枠部分の計画を平成 30 年度に改定し、平成 31～33 年度の 3 か年間に取り組む方針・事業を定めます。

# 区民アンケート結果①

## 区が進める取組の進捗に関する実感

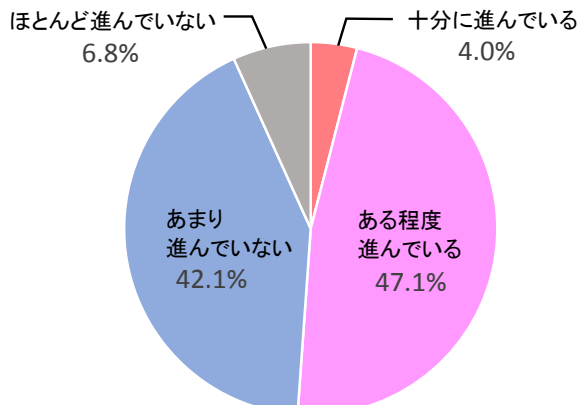
※回答者数は406人

### 目標1：災害に強く安全・安心に暮らせるまち



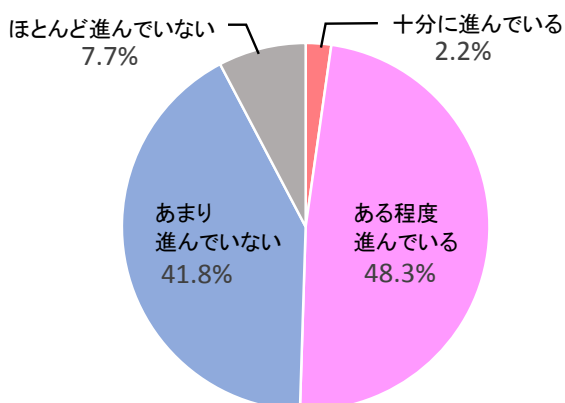
「進んでいる」合計  
55.9%

### 目標4：健康長寿と支えあいのまち



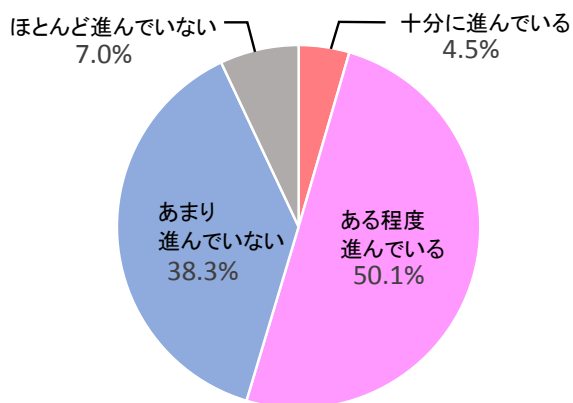
「進んでいる」合計  
51.1%

### 目標2：暮らしやすく快適で魅力あるまち



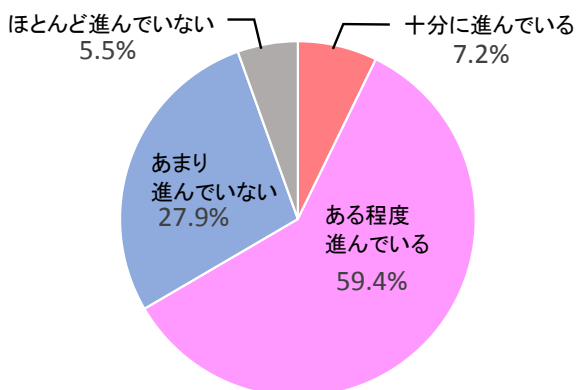
「進んでいる」合計  
50.5%

### 目標5：人を育み共につながる心豊かなまち



「進んでいる」合計  
54.6%

### 目標3：みどり豊かな環境にやさしいまち



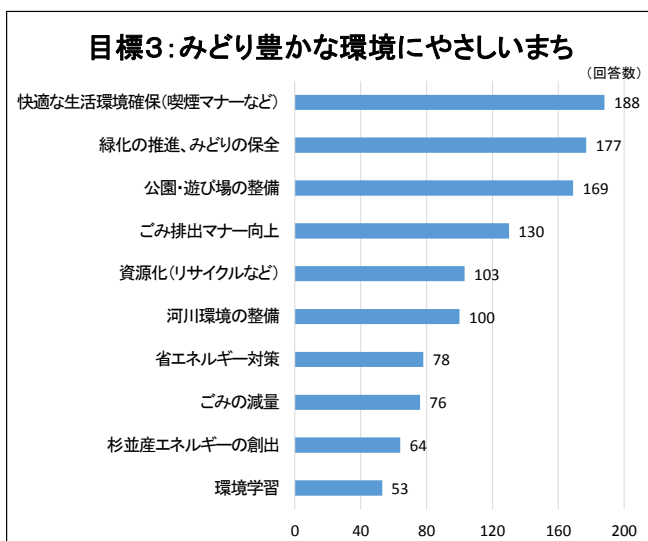
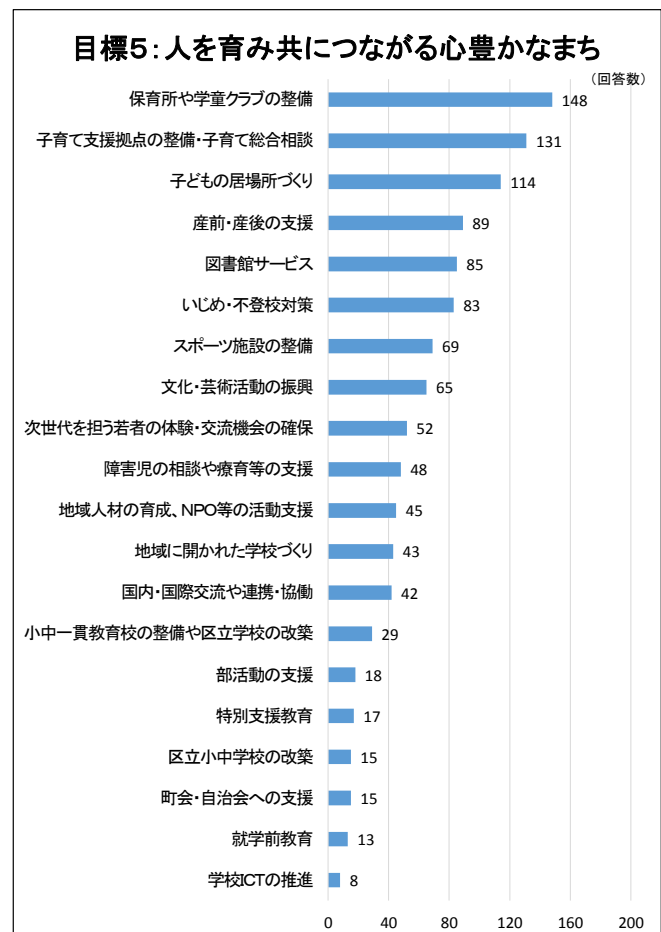
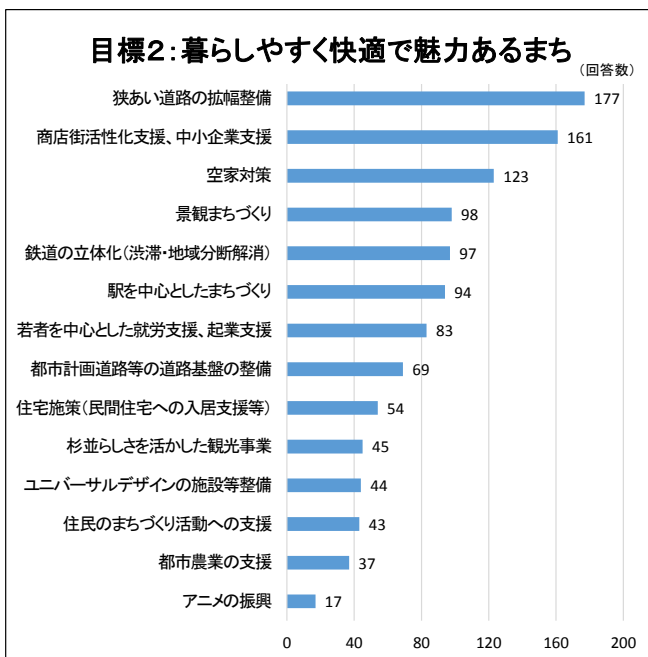
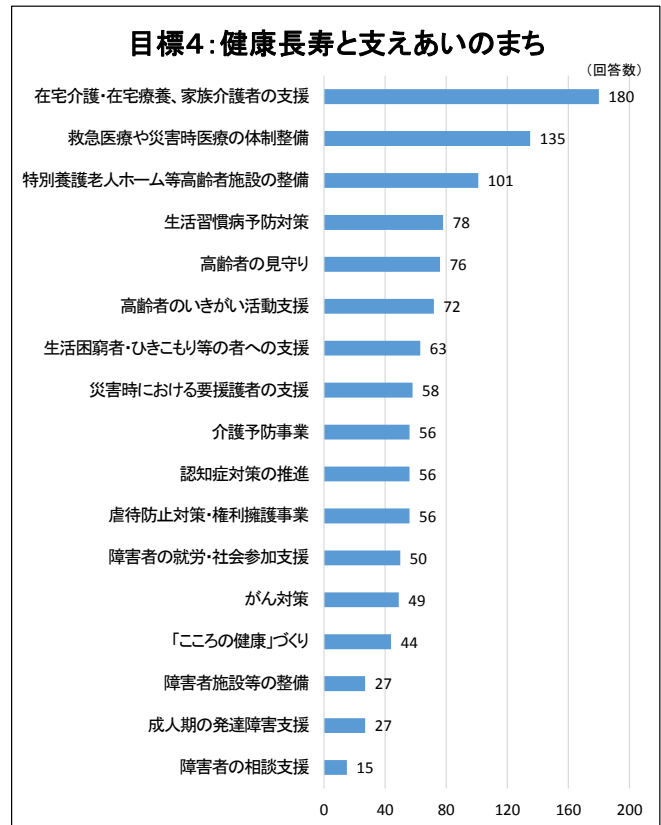
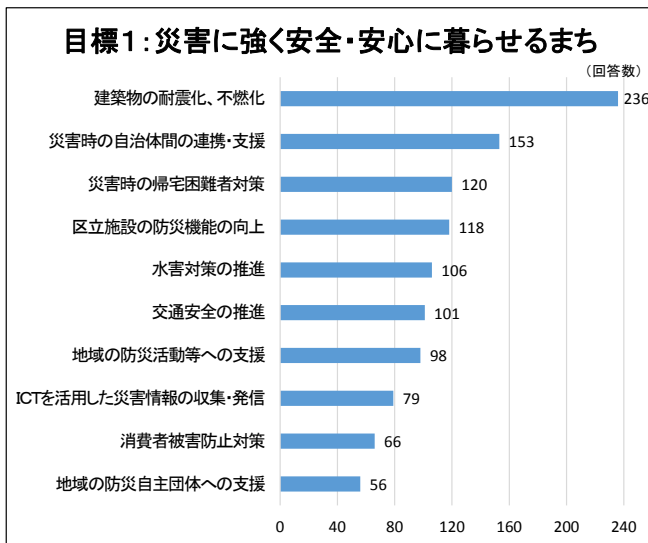
「進んでいる」合計  
66.6%

## 区民アンケート結果② 「区が特に力を入れるべき」と思う取組

※回答者数は406人

※回答者は「区が特に力を入れるべき」と思う

取組を目標ごとに3つ以内で選択



## 2 基本構想実現のための区民懇談会「すぎなみ ちょこっトーク」

区民アンケートにあわせ、懇談会の案内状を送付し、参加者を募集しました。ファシリテーターと呼ばれる司会進行役を中心に、参加者が自由に発言を行い、全員で考えを共有することができるワークショップ形式で実施しました。（懇談会参加者は以下のとおりです。）

**区 民** 67名（男性24人、女性43人）から参加意向があり、各会の実参加人数は以下のとおり。

参加内訳	第1回 12/10		第2回 2/25		第3回 4/21		第4回 6/3	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
18～19歳	0	1	0	0	0	0	0	0
20～29歳	1	1	0	0	0	0	0	0
30～39歳	6	6	4	2	4	2	2	2
40～49歳	3	4	4	4	1	4	2	3
50～59歳	1	1	1	3	1	3	0	3
60～69歳	1	5	3	5	1	5	2	6
各回計	12	18	12	14	7	14	6	14
	30名		26名		21名		20名	

### 学識経験者



牛山 久仁彦 氏 明治大学政治経済学部教授

専門は、行政学、地方自治論。日本行政学会理事、全国町村議会議長会議会のあり方研究会委員、杉並区基本構想審議会副会長などを歴任。  
基本構想策定後も、「基本構想実現のための区民懇談会」に参加いただく。

### ファシリテーター（司会・進行）

宮本氏を中心に2回目以降はサポートで若柳氏、最終回は小笠原氏にもご協力いただきました。



宮本 大輝 氏

一般参加者向けワークショップのファシリテーター  
官公庁・企業向け「コミュニケーション」研修 講師  
高校・大学生向け「キャリアデザイン」講座 講師  
などを務める。



若柳 翼 氏



小笠原 祐司 氏  
NPO法人 bond place 代表

## 基本構想実現のための区民懇談会（すぎなみちょこっトーク）全4回のながれ

基本構想の5つの目標ごとに区の現状・課題、目標が達成された状態（イメージ）を共有した上で具体的なテーマの意見交換をグループ単位で行い、他の参加者の意見も踏まえて、個人（自分）の意見をまとめるため、4回に分けて懇談会を開催しました。

### 第1回目 平成29年12月10日（日）

#### 『わたしが感じる、すぎなみの暮らし』

- ★基本構想の5つの目標が実現したイメージを参加者で共有する前提として、暮らしの中で感じる杉並区の「いいところ」「気になるところ（改善してほしいところや疑問などの課題）」を意見交換
- ★基本構想の5つの目標が実現したら、「日常生活はどのように良くなっているか」のゴールイメージについて意見交換し、参加者で共有する。

⇒⇒⇒⇒ 7ページをご覧ください。

次回開催案内と合わせて  
第1回のまとめを参加者へ郵送

### 第2回目 平成30年2月25日（日）

#### 『まちの機能 ～安全・安心、快適なまちを目指して～』

- ★第1回目の意見交換内容の「振り返り」
- ★杉並区基本構想の目標1～3の『まちづくり』に関する7つの具体的なテーマについて、目標達成（ゴール）に向けて、「何をすべきか（取組）」を意見交換。
- ★重要度と緊急度の視点で取組の優先順位をつけて、『区』が『何をすべきか』を中心にまとめる。

⇒⇒⇒⇒ 13ページをご覧ください。

次回開催案内と合わせて  
第2回のまとめを参加者へ郵送

### 第3回目 平成30年4月21日（土）

#### 『ライフサポート ～住み慣れたまちで、健やかに暮らし続けるために～』

- ★第1回目の意見交換内容の「振り返り」
- ★杉並区基本構想の目標4～5の主に『健康・福祉』に関する6つ具体的なテーマについて、目標達成（ゴール）に向けて、「何をすべきか（取組）」を意見交換。
- ★重要度と緊急度の視点で取組の優先順位をつけて、『自分』『区』などの実施主体ごとに『何をすべきか』をまとめる。

⇒⇒⇒⇒ 18ページをご覧ください。

次回開催案内と合わせて  
第3回のまとめを参加者へ郵送

### 第4回目 平成30年6月3日（日）

#### 『これまでの意見の総まとめ・深掘り ～わたしの「ちょこっと」政策提案～』

- ★第2～3回目の各テーマのまとめ「何をすべきか（取組）」の振り返り
- ★第2～3回目の各テーマでさらに具体的な意見を言いたいもの、各テーマに共通していると思うテーマを参加者が選択し、同じ又は関連のあるテーマごとに、4名程度のグループになり意見交換
- ★その意見交換を踏まえ、自分の考え・意見を『わたしの「ちょこっと」政策提案』としてまとめる

⇒⇒⇒⇒ 22ページをご覧ください。

## 第1回の概要

「わたしが感じる、すぎなみの暮らし」

開催日時：平成29年12月10日 日曜日 午後1時30分～4時30分

参加者が4～5名のグループに分かれ、日常生活で感じることなどを話しながら、基本構想の5つの目標のイメージを共有しました。



### 【ワーク1】暮らしの中で感じるすぎなみの「いいところ」「気になるところ」

すぎなみの「いいところ」、「気になるところ（改善してほしいところや疑問など）」を黄色と水色の付せんに書き出し、グループで意見交換しました。書き出した意見は、基本構想の目標1～5ごとに整理して会場に貼り出し、全員で共有しました。



※書き出された意見は、次ページをご覧ください

### 【ワーク2】5つの目標の優先順位（力を入れるべきもの）

基本構想の5つの目標のうち、参加者が優先すべきと考える目標の上位2つに「投票」を行いました。

#### 【投票結果】

	基本構想 5つの目標	優先順位 1位	優先順位 2位
1	災害に強く安全・安心に暮らせるまち	7	7
2	暮らしやすく快適で魅力あるまち	9	7
3	みどり豊かな環境にやさしいまち	0	2
4	健康長寿と支えあいのまち	5	8
5	人を育み共につながる心豊かなまち	9	6

※区民アンケート結果は3～4ページをご覧ください

### 【ワーク3】5つの目標が実現・達成したときのゴールイメージ



「基本構想の5つの目標が実現・達成できた時、日常生活はどのように良くなっているか」の具体的なイメージを、ピンク色の付せんに書き出し、グループごとに意見交換しました。

意見を書いた付せんは、5つ目標ごとに、会場内に貼り出し、参加者全員で共有しました。

※書き出された意見は、次ページをご覧ください



## 目標1 「災害に強く安全・安心に暮らせるまち」

### ワーク1 暮らしの中で感じる すぎなみの「いいところ」「気になるところ」

#### すぎなみの「いいところ」

安全 (同意見他2件)	治安が比較的良い と思う (同意見他1件)	夜遅くてもまずまず 安心に歩ける (同意見他1件)
静かな街並み (同意見他1件)	住宅街	街全体が落ち着い ている

(計 11 件)

#### すぎなみの「気になるところ」

災害時の一次避難 用公園が少ない	大地震が発生した 場合の対応	古いたてものを改築 してもらいたい
家が密集しているの で、火災の時、心配 (同意見他1件)	夜の商店街の通りが 少し暗い	怖い運転をする自 転車が多い気が… (同意見他1件)
最近、少々治安が 悪くなり、昔あまり車 が入ってこなかった ところまで車が入っ てきてあぶなくなっ た	全身タウーの人が 高井戸周辺にいて 怖い パトロールをもっとし てほしい	(計 10 件)

### ワーク3 目標1が実現・達成したときのゴールイメージ

災害時の避難所キ ャパシティが全区 民をカバー (同意見他2件)	災害時の避難経路 を区民全員が理解 している (同意見他3件)	災害時の備蓄品が 全区民をカバー	避難所での生活が 快適にできる	区民全員参加の避 難訓練を年1回実 施	小学校等の耐震対 策が完了 (同意見他1件)
災害時の生活再建 のための施策が可 視化されている	災害時の自治体連 携について具体的な 施策が可視化され ている	災害時に救急車や 消防車がまんべん なく対応できる道路 や体制づくり (同意見他1件)	自転車の交通ルー ルが守られる街 (同意見他3件)	火災発生時に延焼 しない (同意見他1件)	ゲリラ豪雨時など に浸水しない (同意見他2件)
街路灯の整備を 100%にする (同意見他2件)	警察と連携してパト ロールを増やす	通報拠点を増やすと ともに分かりやすく する	子どもの見守り	女子の1人歩きがで きる	不審者が現れない
空き家無くす (同意見他1件)	民泊でなく正規のホ テルと同じ規制にす る	小学校の音出しOK	小学校と保育園を 同居させる(災害時 に大事)	高齢者一人暮らしの 方が、災害時に困ら ないよう、特養等施 設の待機待ちは6カ 月内	(計 39 件)



## 目標2 「暮らしやすく快適で魅力あるまち」

### ワーク1 暮らしの中で感じる すぎなみの「いいところ」「気になるところ」

すぎなみの「いいところ」			すぎなみの「気になるところ」		
商店街がいい スーパーと小さいお 店が共存しているの がいい (同意見他1件)	商店街に活気があ る (同意見他2件)	個人商店が多い (同意見他4件)	道が狭い (同意見他14件)	放置自転車置き場 を増やしてほしい (同意見他3件)	南北の交通アクセ スが不便 (同意見他4件)
商店街が多い (同意見他2件)	商店街に特色があ る (同意見他3件)	買い物に便利	都バスが少ない (同意見他1件)	踏切が多くて待つこ とが多い (同意見他1件)	家賃が高い (同意見他3件)
交通の便が良い (同意見他14件)	地域に密着したイベ ントが多い (同意見他9件)	特色が各地域にある (同意見他1件)	大型のショッピングモ ールや施設をもっと 作ってほしい (同意見他1件)	店の出店、閉店が 頻繁になっている (同意見他1件)	環八の渋滞
幅広い年齢層の人 が平均的に居るイメ ージ (同意見他1件)	比較的高層の建物 が少ない	施設が多い	住宅地がどんどん増 えている (同意見他1件)	アパート・マンション が足りない	土地の切り売り (同意見1件)
物価が安い	中央線の各駅前の 整備 きれいなビル	自転車置き場が充 実	電車が路線少ない (同意見他1件)	方南町は杉並のチ ベット	西武線の各駅の商 店街
(計 52 件)			渋谷区はホテル監 修の保養所があるの に、杉並区にはない	区民センターに物々 交換リスト	駅前に大きなパチン コ屋さんがある
(計 49 件)					

### ワーク3 目標2が実現・達成したときのゴールイメージ

買い物が便利 (同意見他2件)	高齢者や障がいの ある方が買い物など の移動に困らない	個人商店等の活性 化による魅力アップ (同意見他4件)	渋滞のない道路	中央線の混雑緩和	上井草駅の高架化
南北に電車が通ること	中央線より北側の交 通網を増やす	踏み切りを無くす	自転車が利用しや すい街(道路や置き 場)	自動車、自転車、歩 行者による事故を無 くす(道路の拡幅よ る)	狭あい道路の解消 (同意見他2件)
電柱の埋設化	Uber※が100%活 用できる。 ※スマートフォンを通 した自動車配車	イベントなどが盛んで ある (同意見他1件)	企業誘致による働き やすい街 (同意見他2件)	物価が安くなる	ショッピングモールや 遊園地など遊ぶ施 設を増やす
高齢者や障がいの ある方が不安のない 街	住宅リフォームに対 する貸し出し	住宅などの斡旋によ る定住推進(空き家 を利用) (同意見他1件)	年をとっても住み続 けられること	広い庭がある家にす めること	住みたい街ランキン グであまり上位でな いポジションを達成 (10位くらい)
(計 36 件)					

### 目標3 「みどり豊かな環境にやさしいまち」

#### ワーク1 暮らしの中で感じる すぎなみの「いいところ」「気になるところ」

##### すぎなみの「いいところ」

公園が多い (同意見他8件)	緑(自然)が多い (同意見他9件)	ゴミ分別がしっかりしている (同意見他6件)
比較的静かであること	公共トイレが多い	禁煙エリアが多い

(計 29 件)



##### すぎなみの「気になるところ」

ペットのふんがよく落ちている (同意見他1件)	公園が小さい	公園の場所が片寄っている
公園に人がいない	幹線道路沿いの排気ガス (同意見他2件)	ゴミ収集の分けをきちんとしてほしい (同意見他2件)
歩道の植え込み木が繁りすぎ	区境の道路が汚い	マンション建設で環境が変化した
禁煙エリアが多いのに、歩きタバコも多い	喫煙場所からけむりがもれる	喫煙場所がもう少し欲しい
猫が徘徊している	一般開放かねた畑	(計 19 件)

#### ワーク3 目標3が実現・達成したときのゴールイメージ

子どもたちが安心して遊べる公園 (同意見他1件)	大人が憩える公園が近場にほしい (同意見他1件)	人口増加をふまえた公園緑地等面積の増加	各駅に1つ大きな公園	公園が防災拠点や延焼予防などに役立つ	緑化による夏季電力の省エネ化や景観の美化
みどりを通した学習環境の整備	果実やオリーブの栽培など産業ができる	区施設の太陽光発電の設置	公園と保育園の隣接	区民一人あたりゴミ排出量の減少	リサイクル推進によるエコ活動が盛んに行われる
ゴミ置き場に大きな収集箱を設置する (同意見他1件)	ゴミの散乱がなく、出しやすい	歩きタバコの人がいなくなる	住民がマナーを守る	ガードレールを緑化して交通事故を減らす	(計 20 件)

## 目標4 「健康長寿と支えあいのまち」

### ワーク1 暮らしの中で感じる すぎなみの「いいところ」「気になるところ」

すぎなみの「いいところ」			すぎなみの「気になるところ」		
歯科検診が無料だった	子どもの病院(医療費)が無料	老人ホームが多くなった 介護施設	緊急外来で受診のとき探づらい	大学病院が無い	介護保険サービスをあまり利用できなかった
(計4件)			(計4件)		
保健福祉に力を入れていくところ			高円寺に保健所あるけど何してるかなゾ...		

### ワーク3 目標4が実現・達成したときのゴールイメージ

がんで亡くなる人が減る	医療の無償化	病院が近い	支援を求めたときに、簡単に支援が受けられる(気軽に相談できる)	65歳健康寿命が23区のトップ	60歳以上でも働ける場所がある
高齢者でも部屋が借りられる	高齢者でも安心して生活できる (同意見他2件)	老人ホーム等の施設数が23区トップ (同意見他1件)	高齢者の人口割合が23区トップ (居住・施設含む)	老々介護がなくなる	寝たきりの人がいなくなる
高齢者向けイベントが多数開催される	孤立をふせぎ、社会参加したくなる街 (同意見他1件)	(計18件)			

## 目標1～5以外のご意見

### ワーク1 暮らしの中で感じる すぎなみの「いいところ」「気になるところ」

すぎなみの「いいところ」			すぎなみの「気になるところ」		
区役所のひとが親切	区民のプライドが高い	人柄	結局、住民税が何に使われているかわからない	区として良い計画や制度が沢山あるのに、それらがあまり情報として入ってこない	もっと知名度をあげる。区外(県外)からの転入者等へのアピール?
(計4件)			(計6件)		
年金事務所の人の対応が良かった			区内でも格差がある		
			人口が増える		
			陸橋近くの施設		

## 目標5 「人を育み共につなげる心豊かなまち」

### ワーク1 暮らしの中で感じる すぎなみの「いいところ」「気になるところ」

#### すぎなみの「いいところ」

子どものいる家庭が多い	子育てに対する支援は他の区と比べると多い (同意見他4件)	図書館が充実している (同意見他2件)
運動施設が充実している (同意見他1件)	文化的なところ (同意見他2件)	教育に力を入れている

(計 15 件)



#### すぎなみの「気になるところ」

保育園が足りない (同意見他2件)	幼稚園がなくなっている (同意見他1件)	図書館のデスクがいつも不足している
図書館の本がなんとなく偏っている	運動施設が少ない (同意見他1件)	学校がせまい
地域のつながりが少ない (同意見他1件)	子どもセンターの管轄が区切られている (たらいまわし)	児童館の老朽化
子どもが少なくなっている？	プラネタリウムがなくなった？	大きな声を出せるところがない

(計 17 件)

### ワーク3 目標5が実現・達成したときのゴールイメージ

出生率が23区でNo.1	子育てしやすいが23区でNo.1	親も子ども笑顔で暮らせる	子育てといえば「杉並区」と言われる	保育園や学童クラブ整備による待機児童ゼロ (同意見他6件)	残業あっても子どもを100%預けられる
地域・社会全体で子どもを育てられる (同意見他1件)	マタニティー教育・パパママ学級の参加率100%	子どもが食事できる施設	保育園に行っていない親子のサポート	安心して出産ができる病院	保育園の申請方法が分かりやすい
杉並区イコール文化・芸術のまち	スポーツ施設が充実している (同意見他2件)	スポーツイベントの定期的な開催	スポーツ実施率の向上	学校と地域のつながり強化	空き小中学校の活用
教育ICインフラの整備(全児童等へのPC配備)	町会、自治会の参加率80%	隣近所とのつながり助けあい (同意見他2件)	子育て支援として電動自転車の購入時補助金	(計 33 件)	

## 第2回の概要

「まちの機能～安全、安心、快適なまちを目指して～」

開催日時：平成30年2月25日 日曜日 午後1時30分～4時30分

第1回の懇談会で共有した基本構想の目標が達成されたゴールイメージを振り返りながら、目標1～3のまちづくりに関するテーマについて、7グループに分かれて意見交換を行いました。

テーマ	
1	建築物の耐震・不燃化
2	災害時の帰宅困難者対策
3	狭あい道路の拡幅整備
4	商店街活性化
5	空家・空き室・空き店舗対策
6	みどりの保全・創出（緑地・農地）
7	公園・遊び場の整備



### ●各グループで意見交換するテーマ

区民アンケートで、特に力を入れるべきとされた取組の中から7つをテーマとして設定しました。各グループで話し合うテーマは、くじ引きで決定しました。

### 【ワーク1】「感じていること・考えていること」「知りたいこと」を話そう

テーマについて参加者が「感じていること・考えていること」、「知りたいこと」を模造紙に書き出して、グループごとに意見交換しました。

### 【ワーク2】 「もしも～」の未来を描こう

各テーマの課題が解決された時の「安心・安全な暮らし」「快適な暮らし」をイメージしながら、課題が解決されている姿について模造紙に書き出し、グループごとに意見交換しました。

### 【ワーク3】 目標達成のために必要なこと

【ワーク1～2】の意見交換の内容を踏まえ、目標を達成するために何をすべきかについて、ピンク色の付せんには書き出して、重要度と緊急度の視点で分類し、優先順位をつけて模造紙に貼り出し、グループごとに第2回の懇談会意見としてまとめました。グループによっては、取組のキャッチフレーズ等を青文字で記載しました。

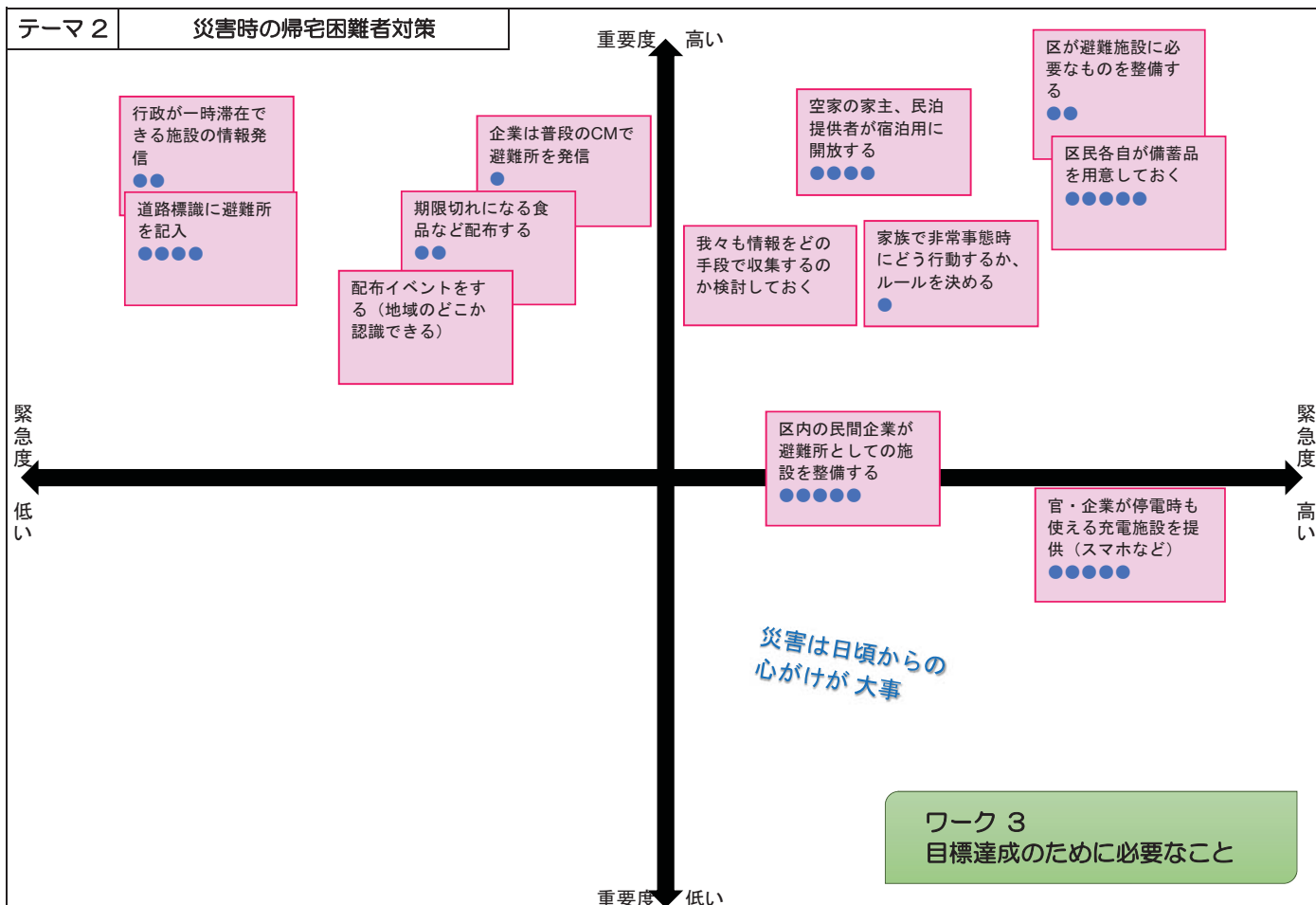
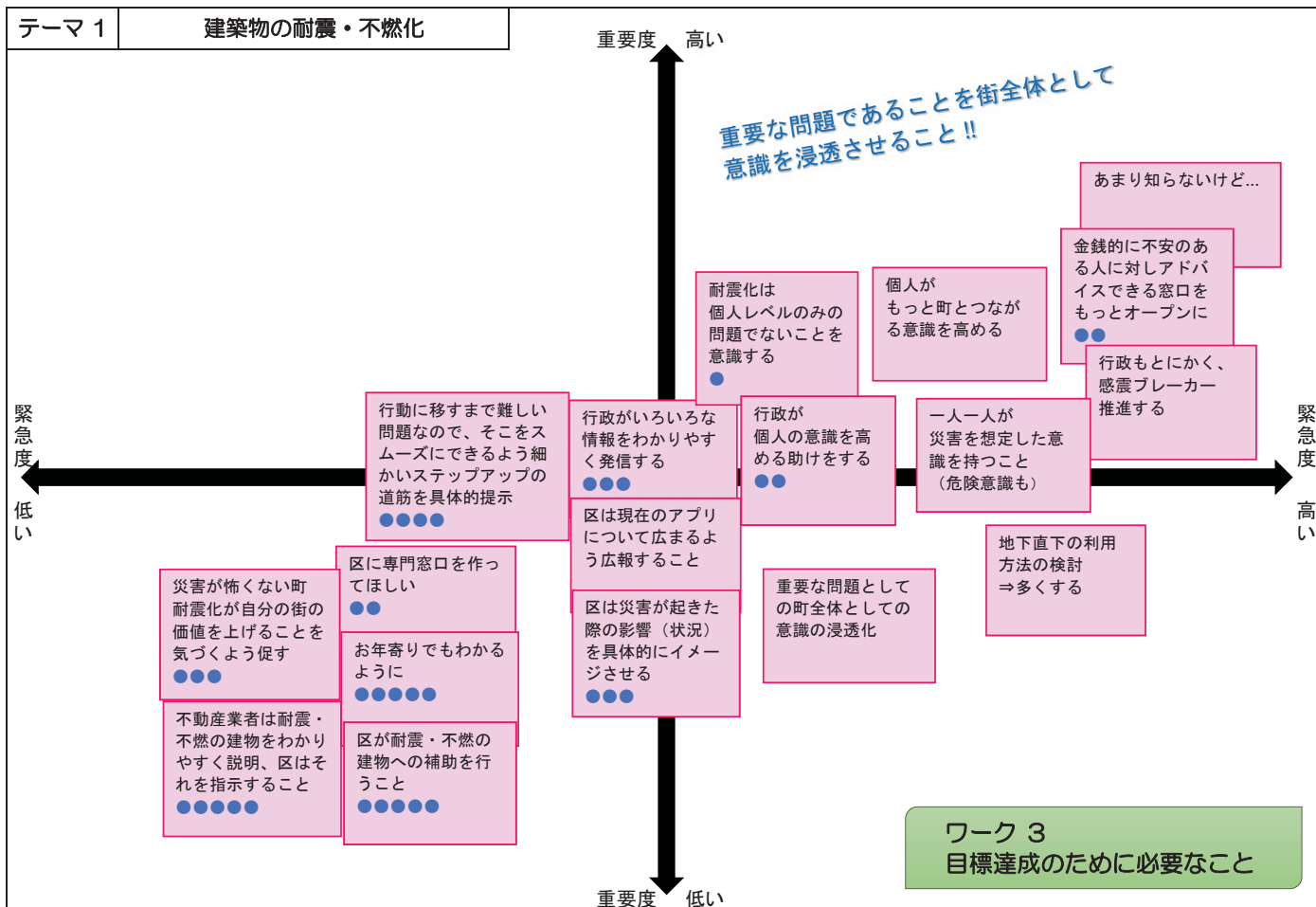
※書き出された意見は、次ページをご覧ください。

### 【発表・共有】 ギャラリーウォーク

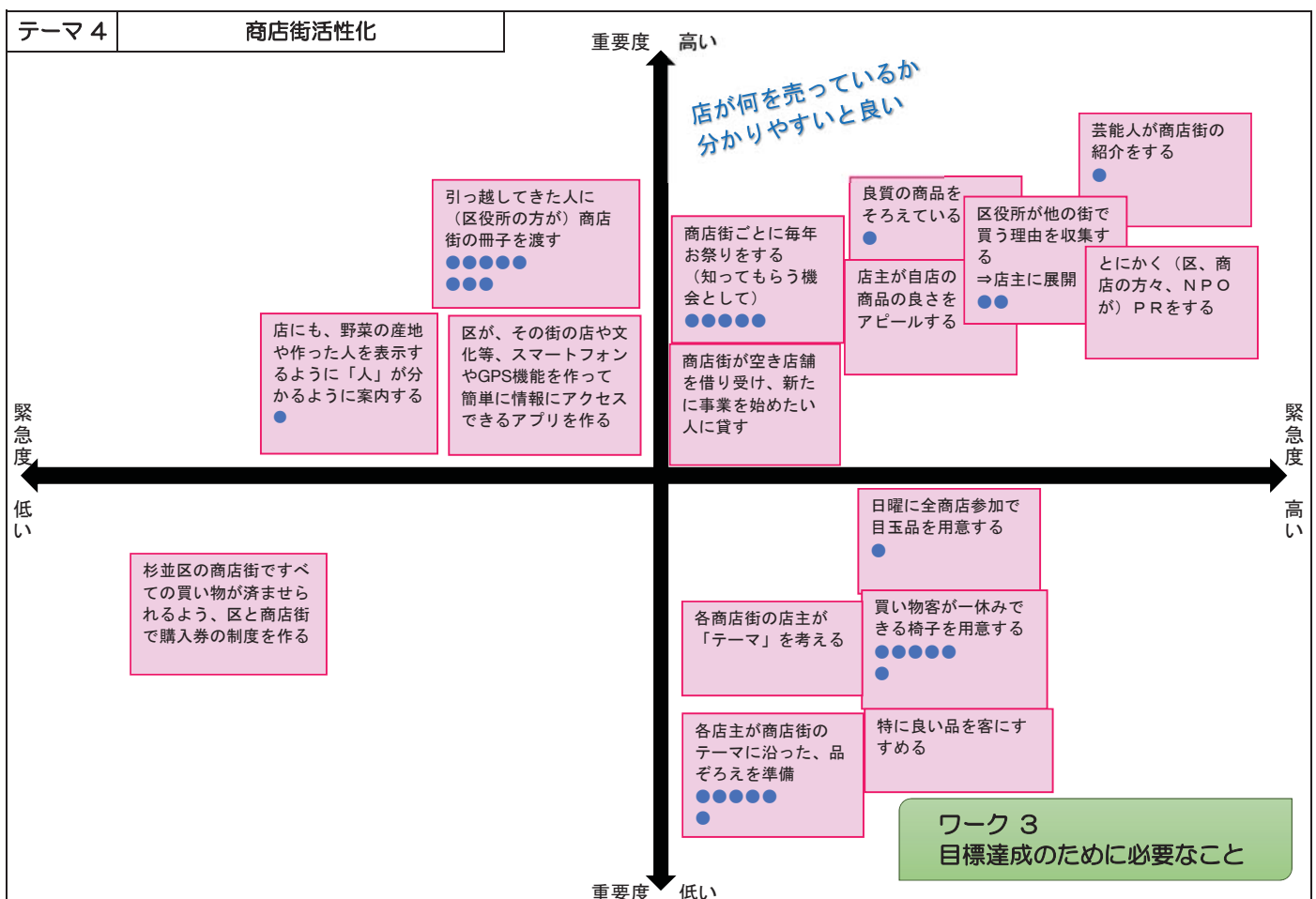
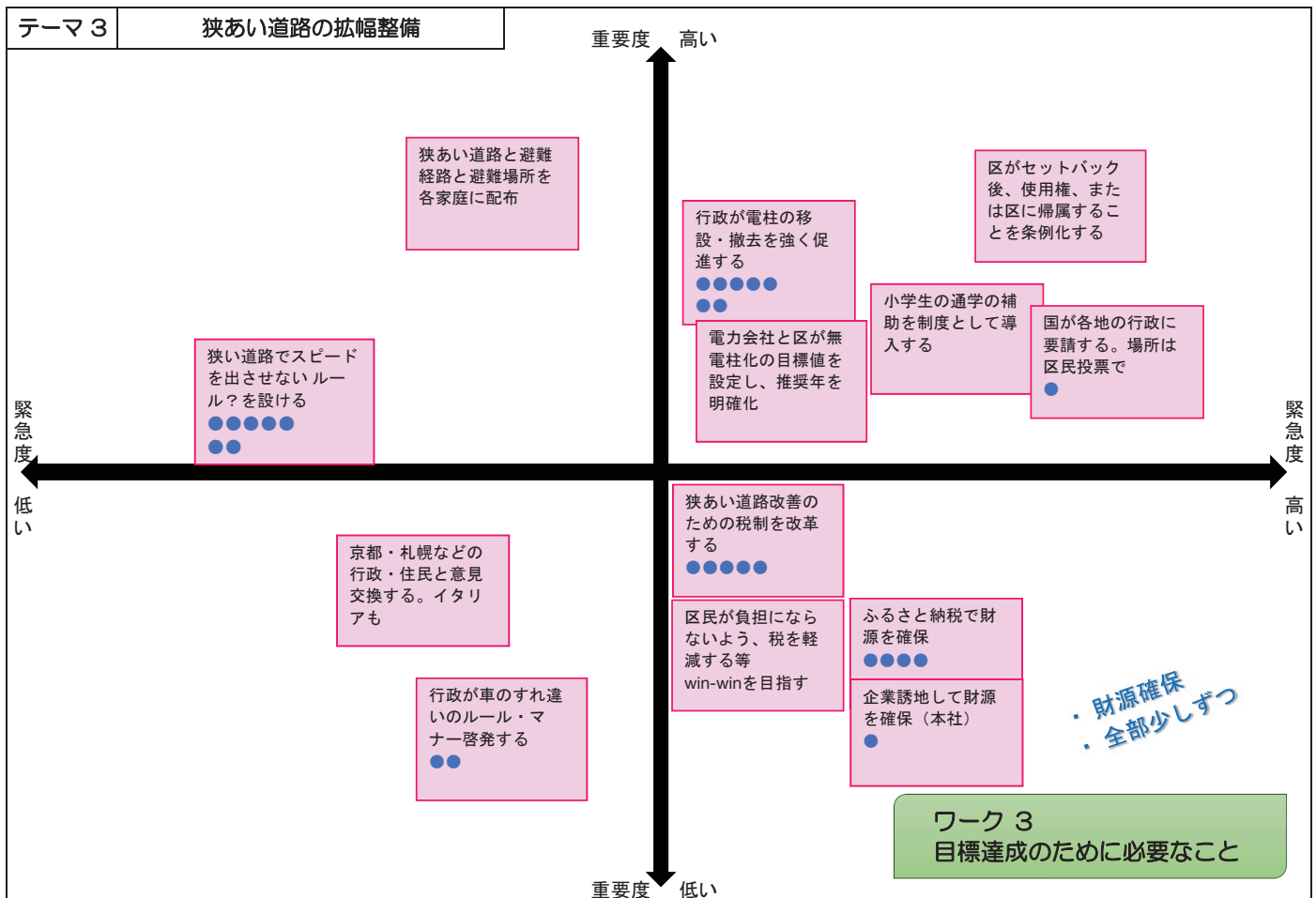


【ワーク3】で作成した模造紙をテーマごとに会場に貼り出して、他のグループではどのような意見が出されたかを全員で確認しました。他のグループの書き出した意見の中で、「いいね！」と思う提案には、青色の●シールを貼りました。

第2回すぎなみちよこっトーク「まちの機能～安全、安心、快適なまちを目指して～」

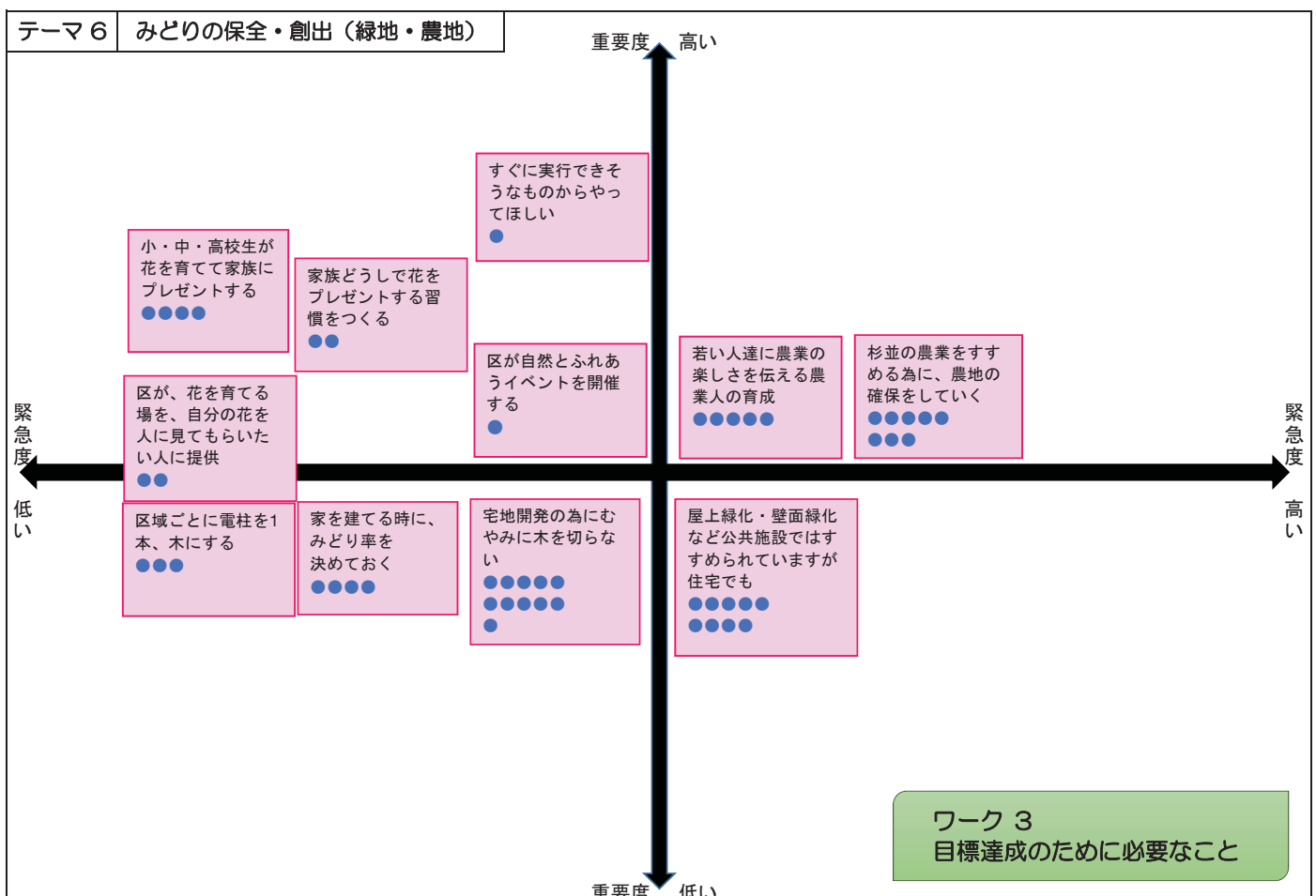
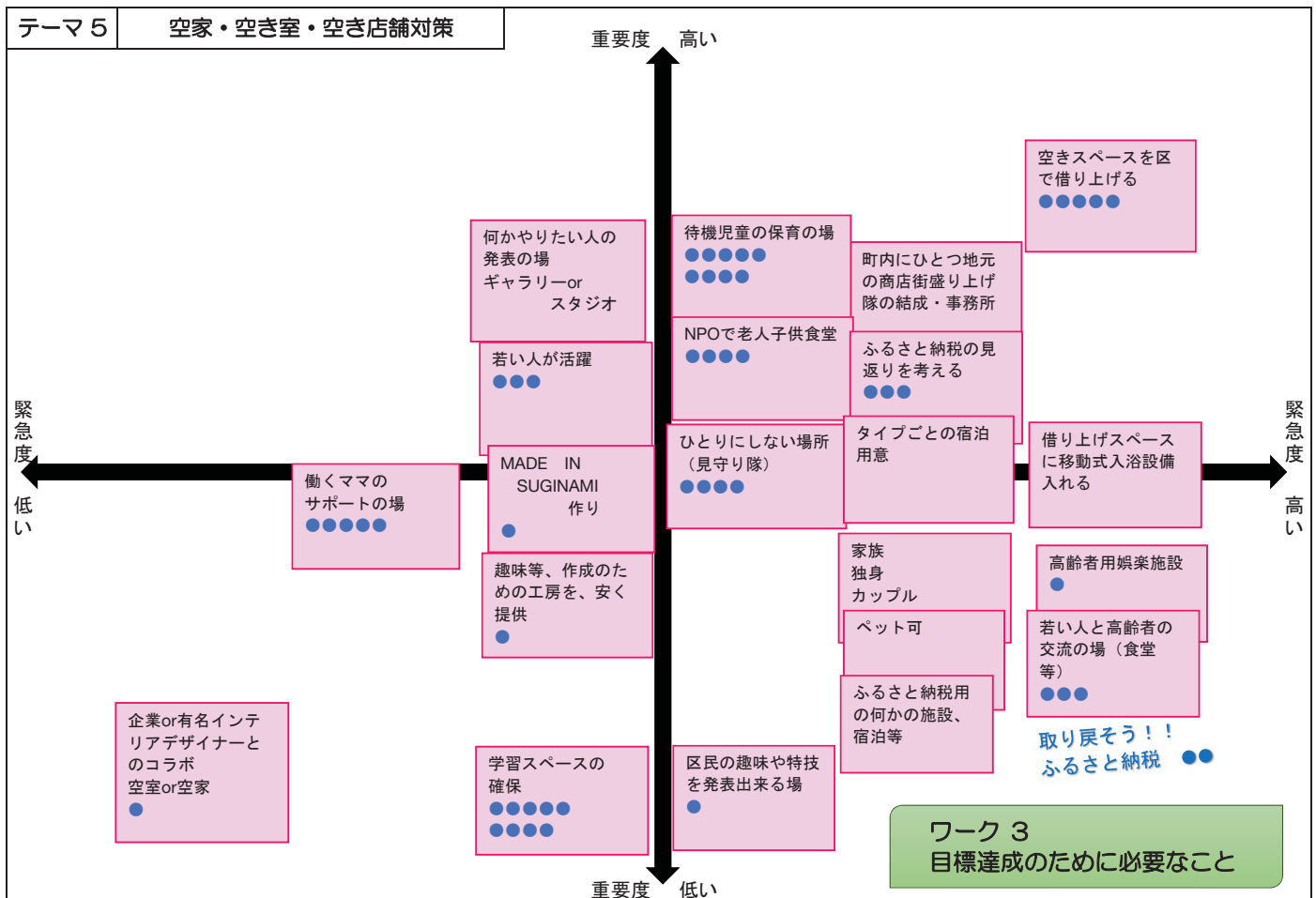


第2回すぎなみちよこっトーク「まちの機能～安全、安心、快適なまちを目指して～」

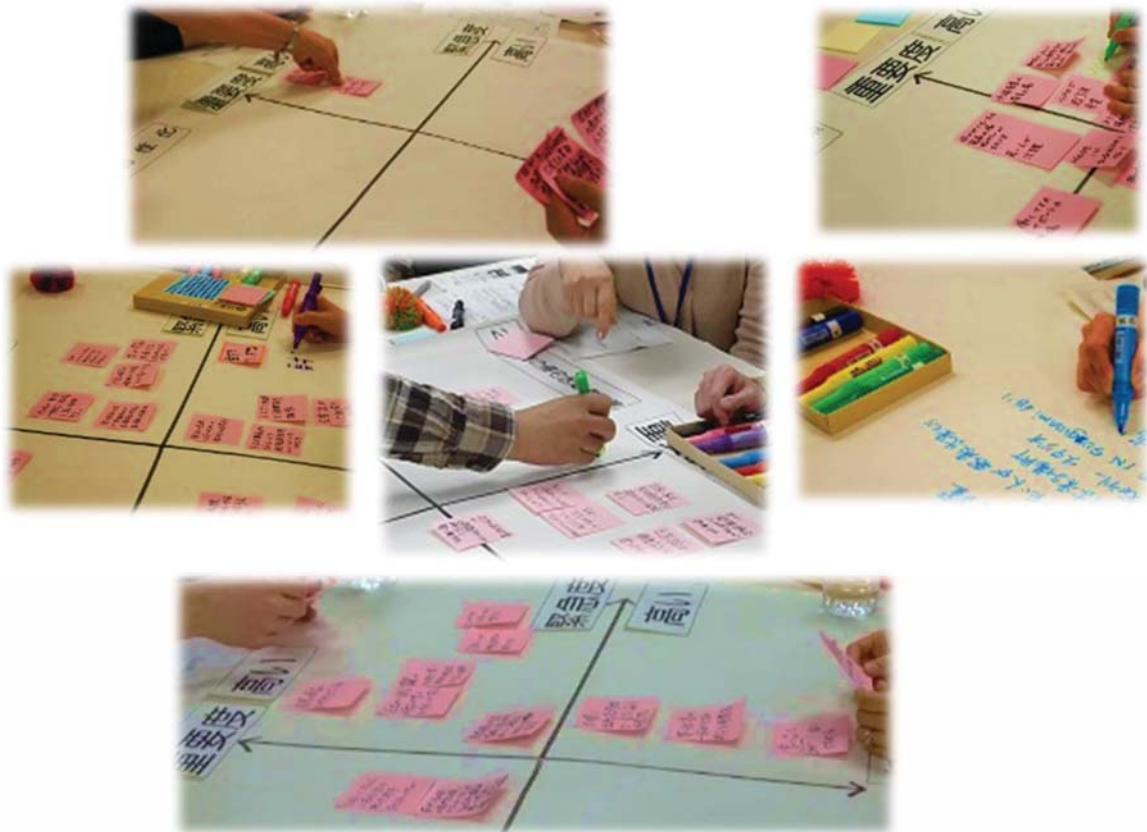
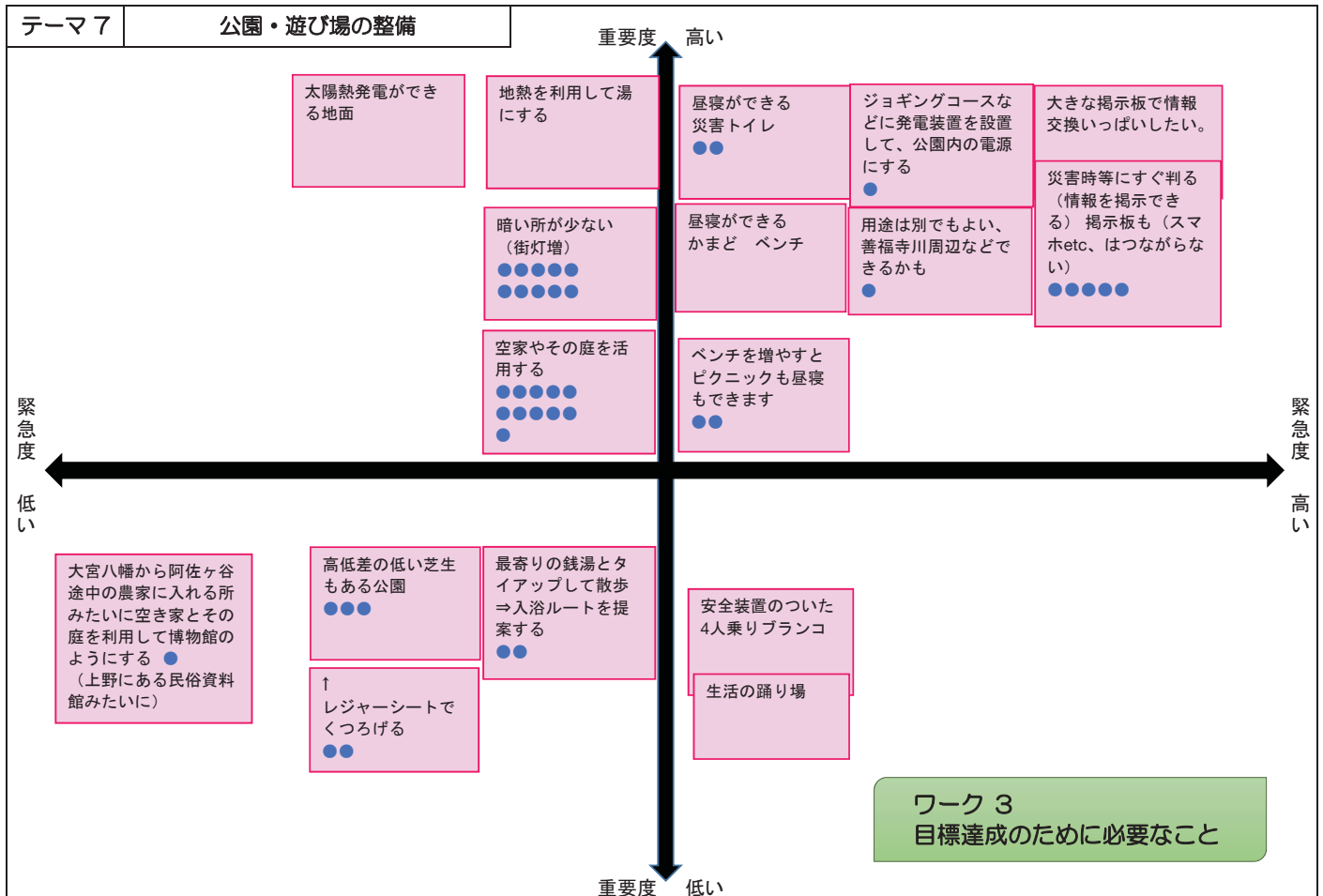




第2回すぎなみちよこっトーク「まちの機能～安全、安心、快適なまちを目指して～」



第2回すぎなみちよこっトーク「まちの機能～安全、安心、快適なまちを目指して～」



## 第3回の概要

「ライフサポート ～住み慣れたまちで、健やかに暮らし続けるために～」

開催日時：平成30年4月21日 土曜日 午後1時30分～4時30分

第3回目は、第1回の懇談会で共有した基本構想の目標が達成されたゴールイメージを振り返りながら、目標4～5の健康・福祉に関するテーマについて、6グループに分かれて意見交換を行いました。

テーマ	
1	在宅介護・在宅療養、家族介護者の支援
2	救急医療や災害時医療の体制整備
3	生活習慣病予防対策
4	子育て支援拠点の整備・子育て総合相談
5	子どもの居場所づくり
6	産前・産後の支援

### ●各グループで意見交換するテーマ

区民アンケートで、特に力を入れるべきとされた取組の中から6つをテーマとして設定しました。各グループで話し合うテーマは、くじ引きで決定しました。

### 【ワーク1】各世代の「見たり、聞いたり、体験したこと」「不安、痛みを感じること」を話そう



テーマについて、自分自身や同世代で「見たり、聞いたり、体験したこと」や「不安、痛みを感じること」を書き出し、自分とは異なる世代の視点に立ってグループ内で意見交換しました。

### 【ワーク2】各世代の課題解決のためのアイデアを出し合おう

【ワーク1】で出された世代ごとの課題について、解決に向けたアイデアを書き出し、グループ内で共有しました。



### 【ワーク3】目標達成のために必要なこと



【ワーク2】で出されたアイデアを踏まえ、目標達成のために誰が何をするのかを、「自分（黄色）」「行政（緑色）」「その他（水色）」の主体ごとに色分けした付せんんに書き出し、重要度と緊急度の視点で分類し、優先順位をつけて模造紙に貼り出し、第3回懇談会意見のまとめとしました。

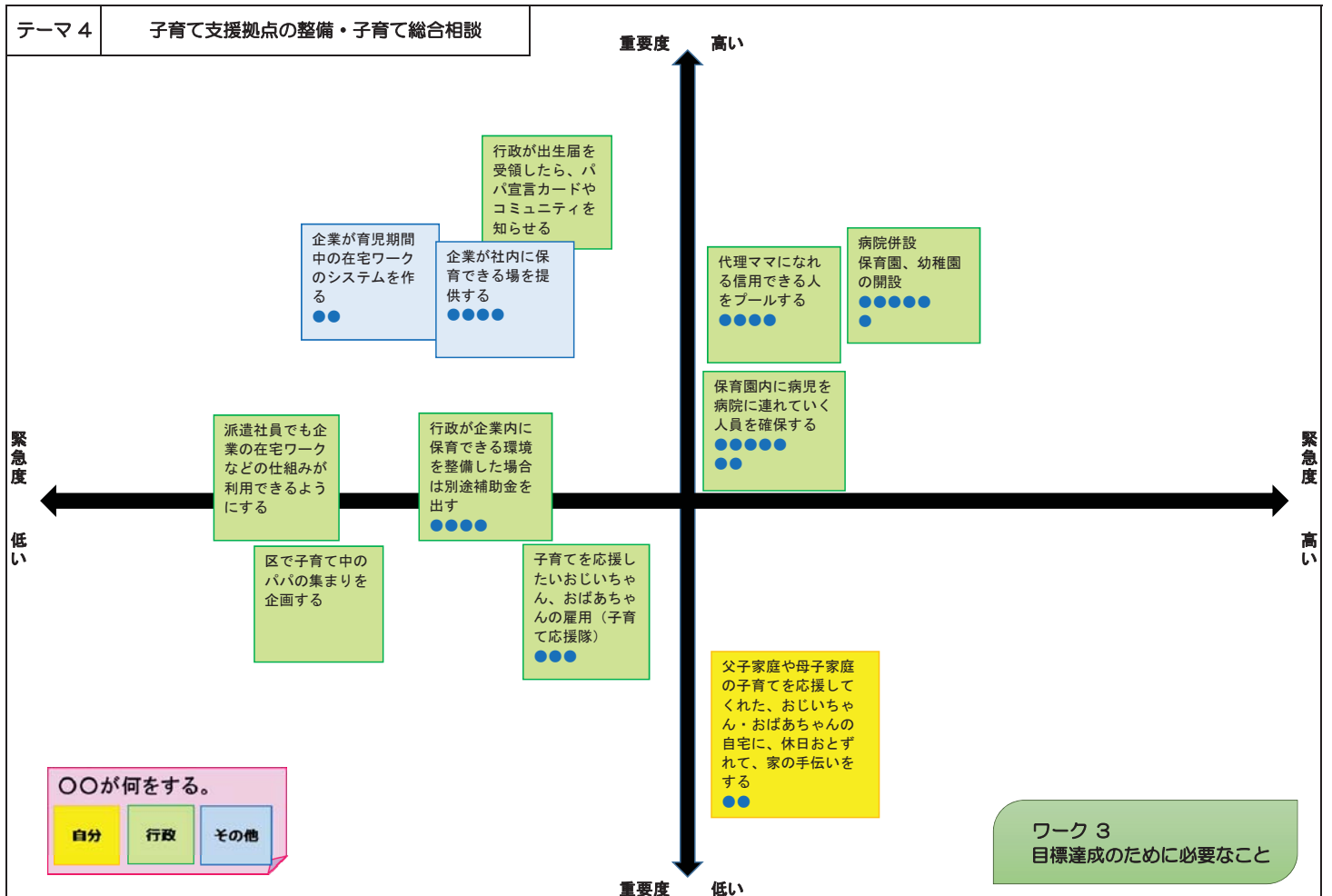
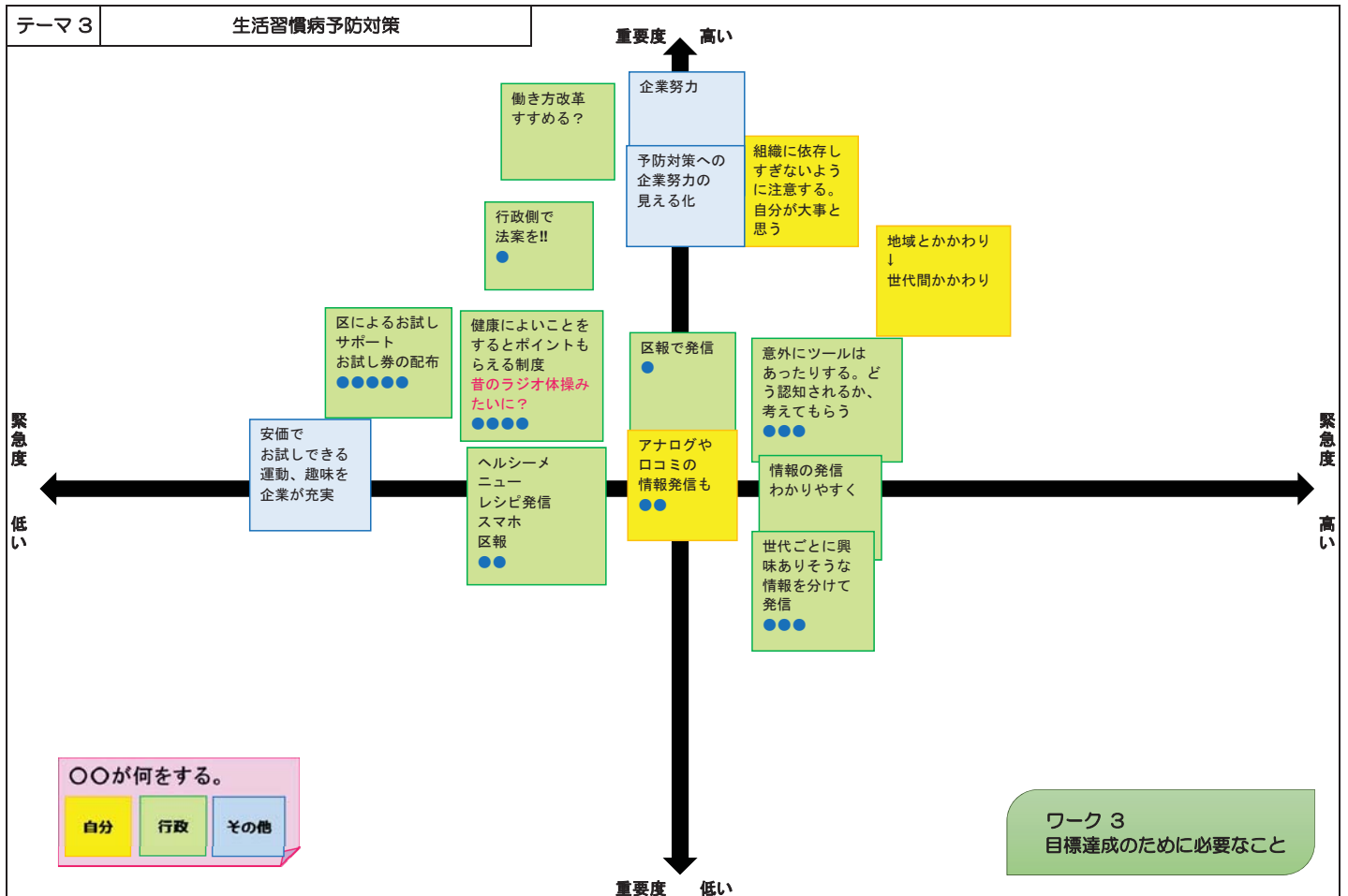
グループによっては、意見の関係性や、協調したいことを赤や青など好みの色で自由に記載しました。

※書き出された意見は、次ページをご覧ください

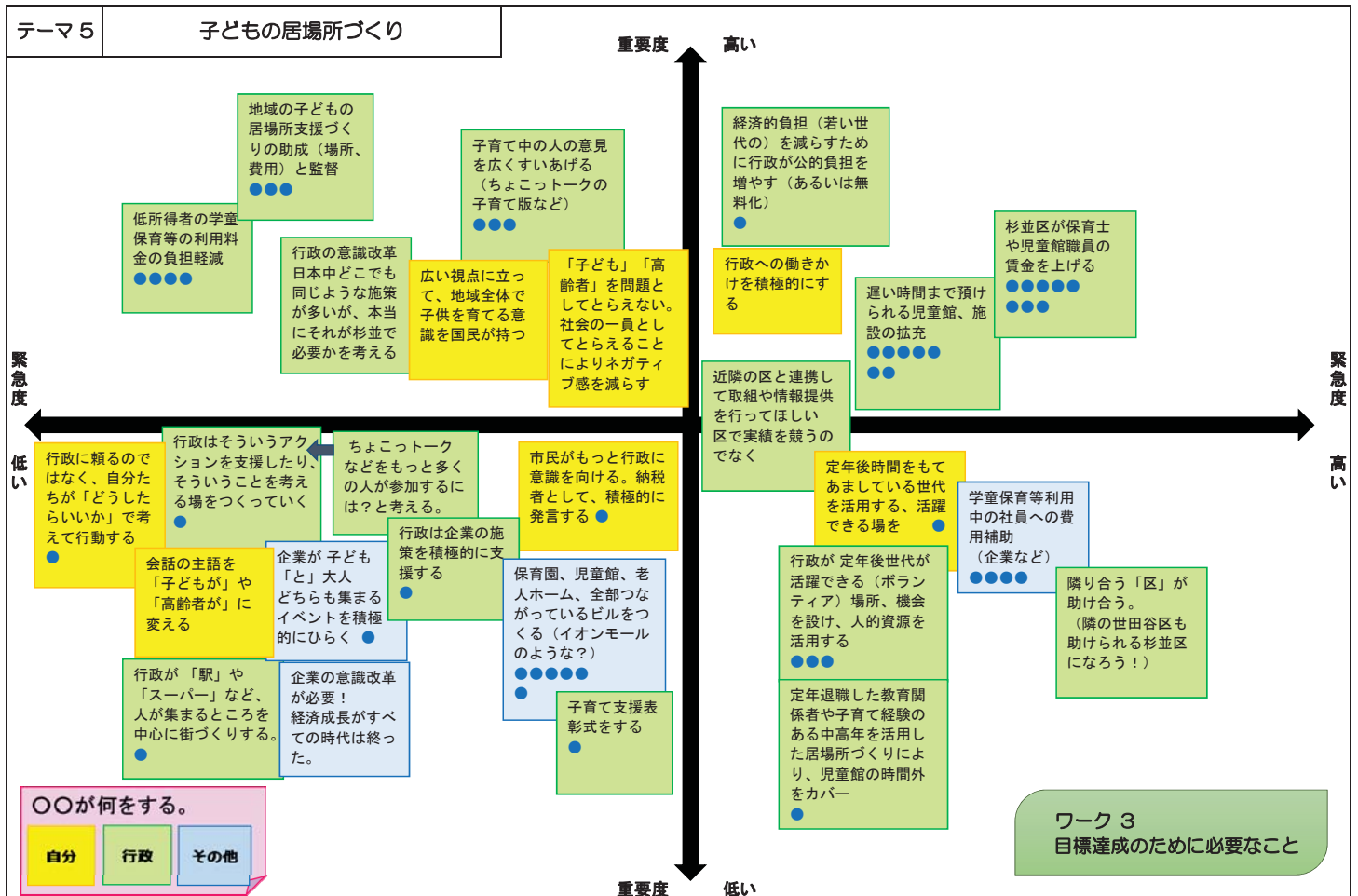
### 【発表・共有】 ギャラリーウォーク

【ワーク3】で作成した模造紙を個別テーマごとに会場に貼り出して、他のグループでどのような意見が出されたかを全員で確認し、他のグループの意見の中で、「いいね！」と思う提案には、青色の●シールを貼りました。

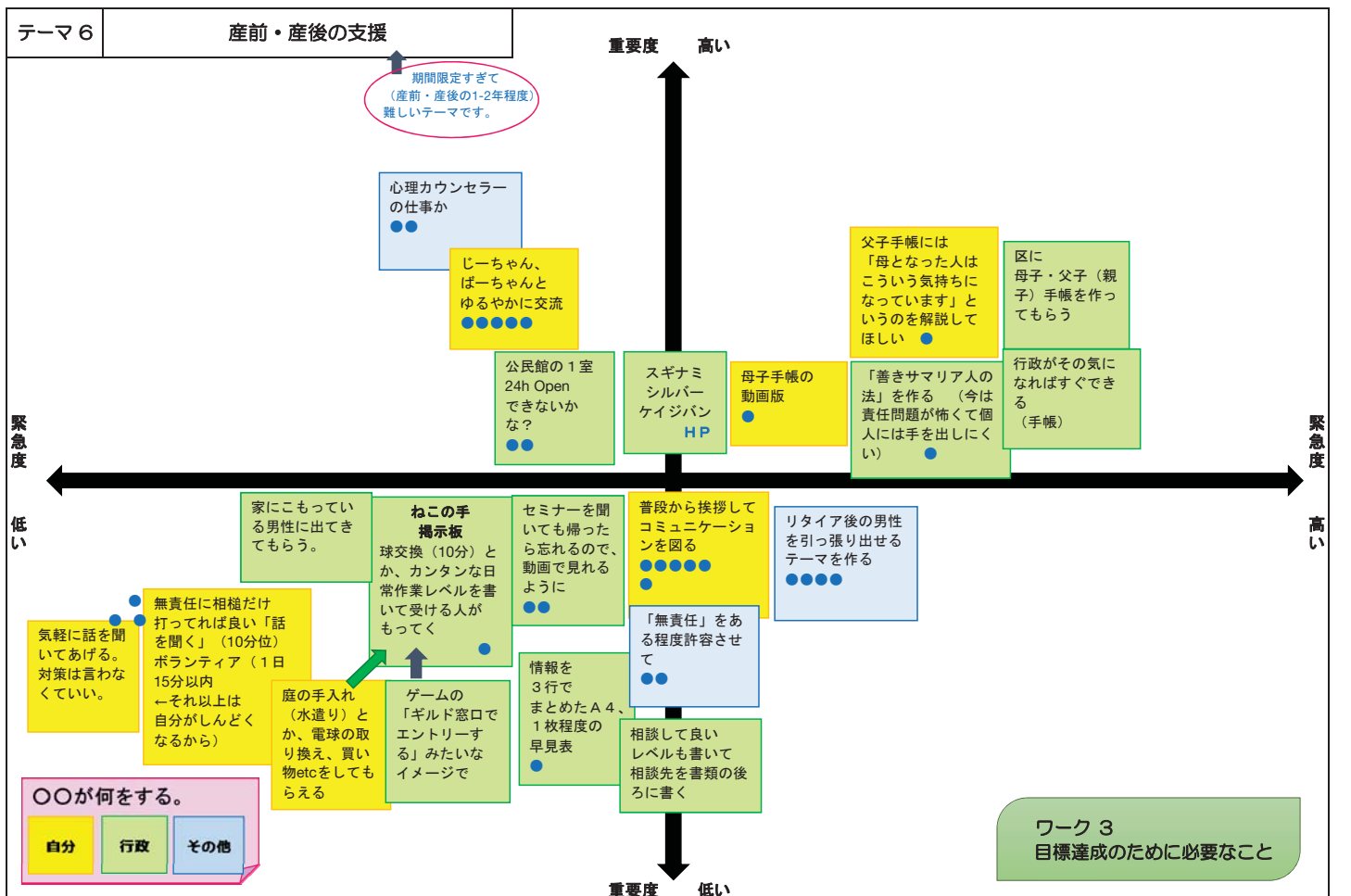




第3回すぎなみちよこっトーク「ライフサポート～住み慣れたまちで、健やかに暮らし続けるために～」



第3回すぎなみちよこっトーク「ライフサポート～住み慣れたまちで、健やかに暮らし続けるために～」



## 第4回の概要

「これまでの意見の総まとめ・深堀り ～『わたしの「ちょこっと」政策提案』～」  
開催日時：平成30年6月3日 日曜日 午後1時30分～4時30分

第4回目は、1～3回目のまとめを参考にして、各参加者が特に興味・関心を持ったテーマごとに4名のグループをつくり、意見交換をしてテーマをより深堀りしました。最後は、グループの意見交換を踏まえて、各参加者から『わたしの「ちょこっと」政策提案』をしていただきました。

### 【ワーク1】課題の共有とトークテーマの設定

第2回と第3回の13テーマについて区の出組を紹介したパンフレット等を参考にしながら、これまでの懇談会で「話し足りないこと」や「興味があるもの」など、自身で本当に考えたいテーマを選択しました。

最終回、このテーマはしっかり話し合いたいと思います。



いいですね。

この人のテーマもおもしろそう！

どんなテーマかな？



選択したテーマを紙に書き出して、同じような意見や興味をもっている参加者を探してグループを組みました。複数のテーマを横断して、共通している事項を新たにテーマ設定した方もいました。

### 【ワーク2】本当に考えたいテーマについて深める グループワーク

選択したテーマごとに4名のグループをつくり『書き込みができるダンボール製の円型ボード（写真をご参照ください）』を使用して、テーマについて「どんな未来が実現しているのか？」「取組方法は？」「妨げとなるものは？」「実現するために必要なことは？」などを円型ボードにどんどん書き込みながら、活発な意見交換を行いました。



### 【ワーク3】わたしの「ちょっと」政策提案

【ワーク2】で円型ボードに書き込んだ内容やグループ内での意見交換を踏まえ個人ごとに『わたしの「ちょっと」政策提案』シートを作成しました。

提案シートには、次の内容を記載しました。

- 選んだテーマ
- このテーマが重要だと思う理由
- このテーマを更に進めるための（具体的な手段・方法）
- その提案を実施・推進するには、こんな課題や不安もある



※ できるかぎり原文のまま記載しています。

テーマ（取組）	重要だと思う理由	手段・方法	課題・不安
1 建築物の耐震・不燃化	○街の魅力の向上などは、街が安全に存在、存続することが前提となる。 ○大震災のリスクが高まり、危険性も明らかになっているので、対策は不可避である。	杉並区が、杉並区の住人あるいは、建築業者に対して、 ○感震ブレーカーの設置を義務付け（新築時は、建築業者に対して。すでにある住居については、住人に対して） ○リスクの高い空き家の撤去の推進（国の空き家対策に、上乘せの形で）、 「区の耐震・不燃化改修助成」に加えて、推進する。	○財源の確保をどうするか。 ○住民感情など、個別背景をどう調整するか。
2 狭あい道路の拡幅整備＋身近にできる狭あい道路でのマナー	○日常的に人、車等が行きかう中で接触等の危険が多いと感じるから。 ○個人の取り組みとしては困難であり行政が継続的にリーダーシップをとっていく必要があると思うから。	○区長（もしくは行政の担当責任者）が、まずは区民に次代の都市のグランドデザインを提示する。 ○その質問を得る形で、選挙、もしくは住民投票を実施し、了承となれば、地権者に一定の譲歩を迫り進行させる。	○財産所有権 ○莫大な予算（税金）
3 狭い道路を安心安全に利用するマナー	○道路、歩道を通行中に自転車等で接触される。事故につながる	○自転車を運転する人が、歩行者に対して、軽車両を運転していることを自覚し、歩行者を安心安全に歩ける条件（状況）を与える。	○自転車、車の運転する時に、スマホ等の使用不可を自覚させる。 出来ない場合は行政が取締る。 （取締りがゆるいと思う）
4 狭い道路の拡幅整備	○すぐに拡幅するには、問題が多いテーマであるため、安全快適な街づくりに、すぐにできることは・・・	○安全確保→車輛（自転車含む）がスピードダウンするように、道路上にギャップを設置する ○快適→個人の意識レベルになるが「マナー」を啓発するように、ステッカーや看板を増設する。 ○自転車のスピード走行への対応 ○スマホながら歩行者への対応	○日常生活上のインフラが整備される以前に大規模住宅→人口増加している。
5 子供から高齢者まで安心安全で生活できる場所	○道のあるいてもかなり危ない事。 ○住みやすさ等の問題。	○まず歩きスマホをやめる ○自転車で、トバさない ○マナーを守る。ぶつかる人に対して礼儀「失礼しました」の一言がないのは変だと思う ○道路の整備	○個人の意識と区の、何時から何時まで立ち入り禁止（車の）規制何故やめてしまったのか、商店街、における？
6 商店街活性化	○人が集まって街が成立する	○区内商店街ごとに、それぞれの特色をうち出し、街ごとでなく全区内から人を集める様なまつりなどを行う。	○街間の交通手段がないので他の街に行けるか



テーマ（取組）		重要だと思理由	手段・方法	課題・不安
7	商店街の活性化	<p>○大手のスーパーマーケットで全てがまかなえてしまい、なかなか個人商店へ足を運ばない今日です。人がいない商店ほど淋しいものはありません。</p> <p>どのようにしたら人が集まるか、いくつか考えたいと思いました。</p>	<p>○区がパラソル（ガーデニング用）とテーブルを買います。</p> <p>○お店を出したい人が、区より安価に借りてお店を出す。</p> <p>○商店街とコラボをして、パラソルショップも開催（月1回 or 2回）</p> <p>○何かイベントを開催すれば、ものめずらしさも手伝って人が来ると思っています。そのためのパラソルショップです。ちょっとしたお祭り!!気分です。</p>	<p>○パラソルショップとコラボしたい商店街があるかどうか</p> <p>○道路の使用許可</p>
8	商店街の活性化	<p>○毎日生活していくのに、商店街を全く利用しない人はそう多くはない。</p> <p>○ほんの少しでも日々の生活が楽しく充実することで、QOLの向上が望めるため。</p>	<p>①「行政が」港区の「ちいバス」や吉祥寺の「めぐりんバス」等の「コミュニティバスを」縦のライン（南北）をつなぐルートで運行してほしい。1回1000円、乗り放題、3000円/日位にして、おススメの観光ルートも作れば「毎日プチ観光」が観光客もできるし、「老人も大人も子供」も出歩くようになると思う。出歩けば必ずカネの動きは出てくる。</p> <p>②商店街ごとの特色を表したちょっとしたお土産を（阿波踊りサブレ）1コ売りしてほしい。</p> <p>③アニメ関係のポイントをつないだり、番組の背景に使うことで「聖地巡礼」ルートを作る。日本人を対象に行えば、無理して観光客を呼ばなくても「興味を持った外国人」は来るし、日本人の移住者も出てくる（茨城の大洗等）→対象：（アニメ関係）（行政）⇔客</p>	<p>○運行委託先と費用の調達</p> <p>○商品開発が高負担になったり同調圧力が生まれること</p> <p>○アニメ系は加熱しやすいようなので、細く長く続くようになるか不明</p>
9	商店街活性化と空家、空き室、空き店舗対策について	<p>○シャッター商店街が増えると町の人々のコミュニケーションが、希薄になる→高齢者や子供達への気配りが弱くなる。居場所が無くなる等様々な弊害が生ずる。</p>	<p>○このテーマには、みどりの保全、創出や子供の場所づくり等連らなる、つながるテーマがある。</p> <p>○最終的には杉並行政による決定取り組みが重要だが、まずは個々の住民が区に対し、杉並区民という意識を持って、ふるさと納税として例えば障害者や貧困家庭に対する何か、見かえりのない対策で納税を呼びかけて欲しい。</p>	<p>○各テーマもかなり重要だがそれら全てに納税にかかっていませんか そこ大事だと思います。</p>
10	空き家対策	<p>① 杉並区内にある財産（家、土地）が無駄になっている。しかも毎年増えている。</p> <p>② 空き家に区外から来た人が住めば区の税収が増える。</p>	<p>「区が」</p> <p>○現在提案されているマッチングシステムを具体化し実現する。 →民間の不動産業者の決める価格ではなく需要と供給に合うシステムの構築</p> <p>○今の税制に上乗せ条例を作る →期限内に空き家を解消した場合は、たとえ更地になっても、しばらく固定資産税は更地価格ではなく据え置き</p> <p>○空き家のまま一定年数以上経過すると転売の際のペナルティ（増税など）あり</p>	<p>○マッチングシステムを運営する専門家との連携</p> <p>○税金予算 等</p>

テーマ（取組）		重要だと思う理由	手段・方法	課題・不安
11	空家の取り扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空家はそれだけで、犯罪の発生になったり、火災になったりと、良いことがない</li> <li>○空家はリフォームしたとしても、最終的には新築とコストが変わらず、良いことがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空家をそのままにしないために杉並区が5年や10年という期限を設けて空家の所有者に対して住むか取り壊すか決めてもらう。</li> <li>○期限を超えた場合は取り壊す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○所有者があえて取り壊してほしくて、そのままにするかもしれない</li> <li>○意外とコストがかかるかも</li> </ul>
12	安全・快適・美しい街・杉並（空き家対策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○杉並区内に割合と大きな古い家が空き家になっている場合がある。</li> <li>○火災の点でも不安であるし、環境の点でも危険を招いているから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○杉並区、行政が、空き家所有者に対して適切な指導をするべきだと思う。</li> <li>○古家を取り壊し、更地にして見通しをよくする等。所有者に対して税制上の援助をしたらどうか。</li> <li>○更地にすると固定資産税が高くなるので、税制を変更する等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○所有者に対して複数の選択肢を与える方がよいと思う。</li> </ul>
13	空家（室）を活用した区民のコミュニティづくり（子供・高齢者食堂等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○少子高齢化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区やNPOが、子供や高齢者のためのコミュニティーをつくる。</li> <li>○区内の空家（室）を区が借り上げる。健康な高齢者による運営（調理等）の子供兼高齢者用食堂等のコミュニティーづくりに利用する。</li> <li>○その運営費は、区が補助する。実際の運営はNPOと区、高齢者の三者で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○働く側の高齢者の健康。</li> <li>○看護師が必要か。</li> </ul>
14	コミュニティ（みんなの居場所）づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空家や人材の有効活用ができ、各世代がみないっしょに健康でいきいきとくらしで行けるのではないかと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①行政が、NPOやボランティアの窓口を作り、参加したい人が容易にとりくめる手助けをする。</li> <li>②行政が空家の有効活用＝みんなの居場所づくりのPilot Caseの手助けをする。←（高齢者＋子供＋その他の方々）が気軽に行ける場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○財政的にもOKかの検証は必要と思う。</li> <li>○問題がおきた時の責任の明確化</li> </ul>
15	コミュニティ作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の空家、空室が増えている。そこを利用し、高齢者～子どもまで、集まって過ごせるコミュニティを作ると地域のつながりが出来るのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者～子どもまで居られる、居場所作り、元気な高齢者は、料理をしたり、昔の知恵を働かせて、子どもの相手をしたり、家に閉じ入りがちの人が他の人のために働くことによって、元気になる。内側から、いろいろな発想・アイデアが生まれ、大家族のような居場所が作れると良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空家、空室の確保が難しい、コミュニティで利用する場合は減税する</li> <li>○行政とNPO（ハードとソフト）・・・柔軟な考え方が必要になってくる。</li> </ul>
16	コミュニティづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども、高齢者の問題、災害、緑化など様々な課題、問題の解決につながる大切な取組であると思う。</li> <li>○結局、人が楽しく暮らせるためには、人の力、人のつながりが大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区と、ボランティア団体が、協働し行う。</li> <li>○区は、空屋、室スペースの持ち主への税の負担軽減等により、場所を確保し、年代層にとられない、居場所づくりを行うボランティアを募集し、審査して決める。</li> <li>○区は、費用補助や、安全等の監督を行うが、ボランティアが主体的に行えるようにする。区は杉並区内の各地にこうした居場所をつくる（一ヶ所にかたまらないよう）最初はいくつかのモデルをつくり、取組を広報して、より一層の充実と発展を図る。又、定期的に各コミュニティの取組をふりかえり、改善を図る。（有識者を含む会議を開いて、問題点、改善すべき点を考える。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティア、NPOの質により、いろいろな問題が生じる可能性がある。</li> </ul>

テーマ（取組）	重要だと思ふ理由	手段・方法	課題・不安
17 子育て応援	○産前から子育てには始まり、子供の成長を家族、地域、行政、共に応援、支援する。	○子育て世代が行政へ、仕事、子育てで悩みを共有する。数字目標はやめる。 ○保育園を作る時は、病児保育もできるようにする。 ○相談窓口が平日のみでは相談できない。 ○ファミリーサポートの登録人数をふやす努力。利用する人の不安解消 ○簡単に高齢者の利用を考えない。サポートでの年代は幅ひろく考える。 ○学童の人数も重要。低学年でも学童に入れない人数が多い。保育園、学童など基準を明確にする。	
18 子育て支援拠点サポート	○杉並区が他の区より子育てしやすい環境であるようにする。	○区の施設（特に相談や病院等の機関）が、子育てに関わる人達に対して、利用時間を拡大すべき。	○杉並区の公務員の負担増→手当を厚くしてカバーする。
19 産前・産後 子育て支援	○共働きの夫婦が増えている。 ○近所に、自分たちの親が住んでいない。	○区がゆりかご券の使い道をフレキシブルにすると、ムダが減る ○区が、区立の保育園を8ヶ月から預け入れるという制限を、産後休暇明けからにするといい。 ○子どもセンター、保健所が平日17時までのところを、夜間土曜日も開く。 ○区、民間の保育園が病気になった子供を預ける施設をつくる。 ○子供とヘルパーさんの充実（時給アップ）（人数アップ）（近所のヘルパーさんの紹介をしてもらえる場の用意） ○区、民間の保育園の開園時間を早める、延長保育を開園時間の前に設ける。	○子育てに関する税金が増える。 でも、親が働く環境がととのうのであれば、解決するのではないかと。
20 子育て	○子育て世代（親）は、働きざかり、行政的にも収入源。 ○子供が育てられない街には、誰も住みたいとは思わない。 ○「子育て」親も子も安心して産み育てられる環境を整える+改善していくことは、区政の重要テーマだと思います。	○行政は、相手の目先にたって、サービスの改善を行うべき。 【例】子育て支援のセンター、その他親向けの）が、平日17時まででは、働いている人が産前不安があっても相談しにくい。1日でも18時or20時くらいにする。もしくは、土曜AMだけでも開けるなど。 ○行政は、待機児童ゼロになったから、と言って「保育園に入れる」のみしか問題は解決していないことを認識してほしい。病児保育の稼働率はどれくらいか。区に2カ所でニーズは満たされているか。普段預ける保育園に作ってもらえるのが理想。少なくとも、働く親が、何の心配もなく出産して子育て出来る所ではない。 ○保育、学童 etc もっと民間にうつした方が、色んな教育を受けさせる機会があり良いと思う。	○病気の時に知らない場所に子供を預けることにとまどいがあるので、なかなかサービスも利用しにくい。 ○今の保育（区立認可）→民間にすると、保護者の反発がスゴイ。不安を払拭する有意義な話し合いの場（ファシリ含め）が出来ると良いのかもしれない。



杉並区基本構想実現のための区民懇談会  
「すぎなみ ちょこっトーク ～みんなで話す すぎなみの未来～」 意見の概要

平成30年9月発行

編集・発行 杉並区政策経営部企画課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1丁目15番1号

TEL 03-3312-2111 (代表)

○ 杉並区のホームページでもご覧いただけます。 <http://www.city.suginami.tokyo.jp>